

序章

第2節

計画中間年における現状の整理

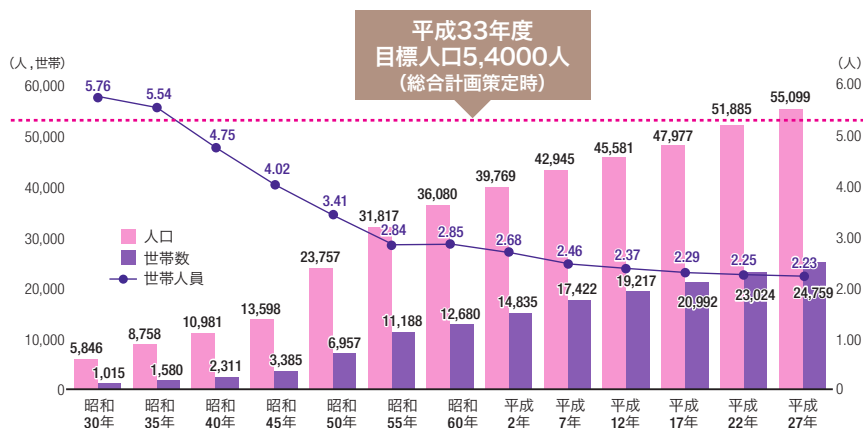
これまでの5年間で、まちづくりの基本方針（政策※）に基づいてまちづくりを進めた結果、人口の推移、市民の意識、政策の進展は次のようになりました。

1 人口の推移

平成27年国勢調査の結果、本市の人口は55,099人となり、平成22年から平成27年の5年間で、3,214人増加しました。

総合計画の目標年次である平成33年度の目標人口を54,000人としていましたが、これを上回る結果となりました。

世帯数は24,759世帯となり、平成22年から平成27年の5年間で、1,735世帯増加しました。



序章

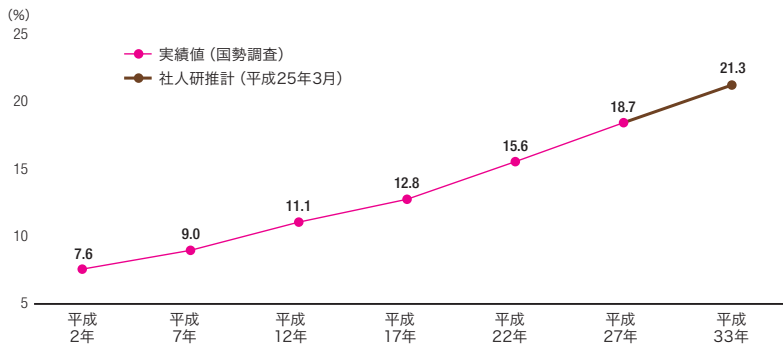
第2節

計画中間年における現状の整理

本市の高齢化率は、上昇を続けています。国立社会保障・人口問題研究所(以下「社人研」)の推計(平成25年3月)によると、平成33年には高齢化率が21%以上となり、超高齢社会※へ突入するとされています。

このことから、超高齢社会の本格的な到来に向けて、高齢者がいきいきと生活しやすいまちづくりの推進が重要となります。

○ 本市の高齢化率の推移 ○



▲ 寿大学「パソコン教室」

2 意識調査

本市での暮らしや協働※のまちづくりに対する市民と転出者の意識を把握するため、平成27年度に意識調査を実施しました。

	市民意識調査	転出者意識調査
調査対象者	本市市民(20歳以上) 1,000名(無作為抽出)	平成24年7月から平成27年6月末までに本市から転出した者 (各年6月末時点で18歳以上)1,000名(無作為抽出)
調査方法	郵送配布・郵送回収	郵送配布・郵送回収
実施期間	平成27年7月10日～8月14日	平成27年7月10日～8月14日
有効回答数	399件(40.4%)	220件(24.3%)

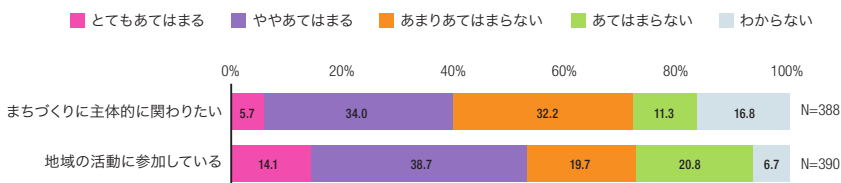
調査結果の概要は、次のとおりです。

市民協働のまちづくりは、道半ばであるといえます

「まちづくりに主体的に関わりたい」と考えている市民は39.7%にとどまっていますが、「地域の活動に参加している」と回答した市民は、52.8%にのびります。

市民協働の理念が広がり始め、積極的に協働事業に取り組む市民が、徐々に増加しています。

○ 自身の想いや取り組み ○



(市民意識調査より)



序章

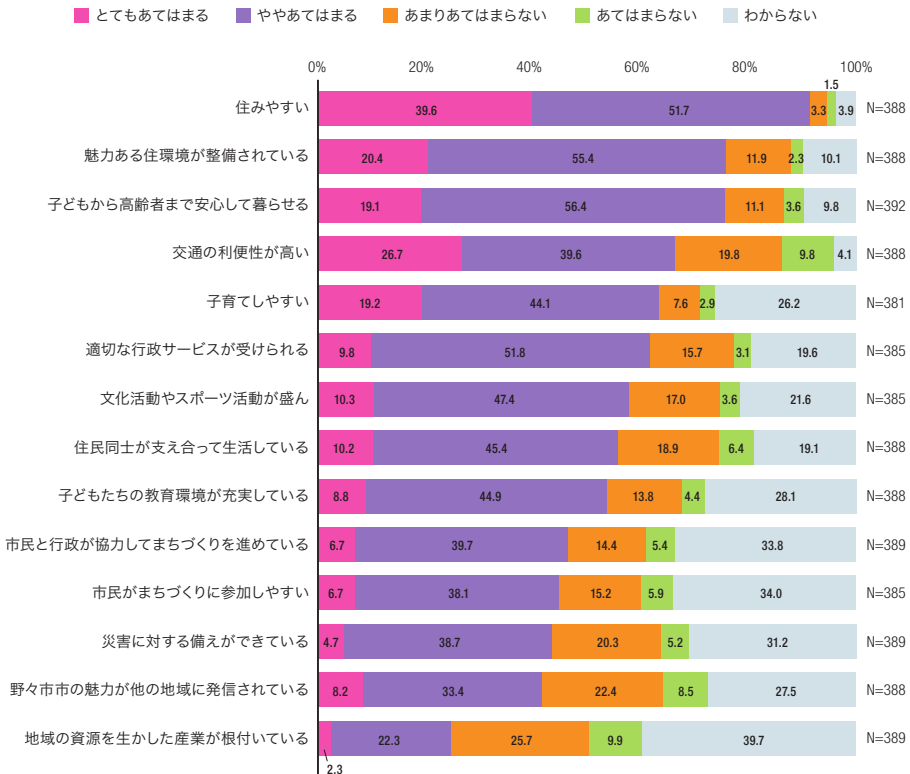
計画中間年における現状の整理

第2節

本市の魅力の発信力、ブランド力に磨きをかける必要があります

「地域の資源を生かした産業が根付いている」(24.6%)、「本市の魅力が他の地域に発信されている」(41.6%)と感じている市民は、多くないということがわかりました。

○ 自身の想いや取り組み ○



(市民意識調査より)

※小数点第2位を四捨五入しているため、合計の数値が100%にならない場合があります。

本市のおすすめには、野々市じょんからまつりとおしゃれなお店があります

「本市のおすすめ場所や紹介するイベント」では、「野々市じょんからまつり」(33名)、「野々市市役所とその周辺」(23名)、「おしゃれなカフェや飲食店が多数ある」(22名)、「大小いろいろなお店があり買い物しやすい」(22名)といった回答が続きました。

○ 本市のおすすめ場所や紹介するイベント ○

前回 野々市町の紹介内容(上位5位)

No.	項目	回答数
1	金沢市の隣町(ベッドタウン)	13
2	金沢工業大学をはじめとして学園都市と言われるように学校が多くある町	7
3	歴史ある町	7
4	勸進帳で有名な富樫の館のあった町	6
5	豊かな町	6

(野々市町出身者アンケート調査(平成21年実施)より)

今回 野々市市のおすすめ場所や紹介するイベント

No.	項目	回答数
1	野々市じょんからまつり	33
2	野々市市役所とその周辺	23
3	おしゃれなカフェや飲食店が多数ある	22
4	大小いろいろなお店があり買い物しやすい	22
5	住みやすい街	12
6	公共施設(資料館・スポーツ等)	10
7	たくさんある公園	7
8	金沢工業大学・石川県立大学	7
9	交通の便が良い	7
9	のっティ	6
11	街の景観(桜並木、散歩道など)	6
12	椿まつり	4
13	虫送り等の伝統行事	3
14	カレーのチャンピオン	3
15	その他	6
16	特に何も無い	2
合計		173

(転出者意識調査より)

序章

計画中間年における現状の整理

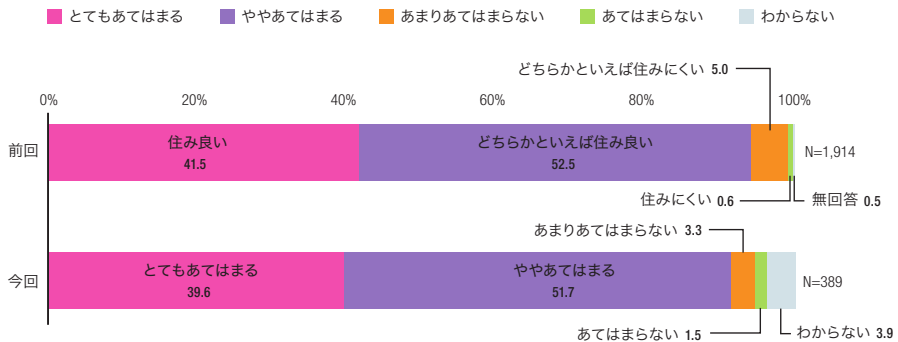
第2節

本市の強みは、暮らしやすい住環境といえます

「本市の印象」として、「住みやすい」(91.3%)、「魅力ある住環境が整備されている」(75.8%)と感じている市民が多くいることがわかりました。

平成21年に実施した「住民アンケート調査」と比較しても、いずれの調査でも半数以上の市民が「住みやすい」と感じており、「住みやすさ」が維持されていることがわかります。

○「住みやすい」の経年比較○



(市民意識調査より)

※小数点第2位を四捨五入しているため、合計の数値が100%にならない場合があります。

3 政策の進展状況

8つの政策の進展を、第一次総合計画第五次実施計画を中心に施策ごとに評価したところ、以下の3つに大別されました。

- ・順調に進展しているもの
- ・おおむね順調に進展しているが、引き続き着実に取り組んでいく必要があるもの
- ・進展に遅れがみられたり拡充が必要であったりと、重点的に取り組んでいく必要があるもの



政策1 一人ひとりが担い手のまち 【市民生活】

政策1には4つの施策を掲げ、一人ひとりがまちづくりの担い手として、市民主体の特色あるまちづくりを進めてきました。

その結果、「施策1 市民協働のまちづくり」は、おおむね順調に進展しています。「施策2 ふるさと意識の醸成と愛着心の向上」、「施策3 多文化共生と国際・国内交流の充実」、「施策4 思いやりのまちづくり」は、重点的に取り組んでいく必要があります。



政策2 生涯健康 心のかよう福祉のまち 【福祉・保健・医療】

政策2には4つの施策を掲げ、市民の健康づくりを進めてきました。

その結果、「施策1 地域福祉社会の創造」と「施策2 健康づくりの推進」は、おおむね順調に進展しています。「施策3 高齢者と障害のある方の福祉の推進」と「施策4 子育て支援の推進」は、重点的に取り組んでいく必要があります。

序章

計画中間年における現状の整理

第2節



政策3 安心とぬくもりを感じるまち 【安全安心】

政策3には「施策1 防災対策の充実」、「施策2 消防と救急体制の充実」、「施策3 交通安全対策の強化」、「施策4 防犯対策の強化」、「施策5 消費者の利益の保護」の5つの施策を掲げ、まちの安全性を高め、安全安心を感じられるまちづくりを進めてきました。

その結果、すべての施策が、おおむね順調に進展しています。



政策4 環境について考える人が住むまち 【環境】

政策4には3つの施策を掲げ、環境負荷※の少ない循環型社会※の構築を進めてきました。

その結果、「施策2 生活環境の保全」と「施策3 環境保全のために行動するひとづくり」は、おおむね順調に進展しています。「施策1 環境負荷の少ない社会の構築」は、引き続き着実に取り組んでいく必要があります。



政策5 みんながキャンパスライフを楽しむまち 【生涯学習・教育】

政策5には5つの施策を掲げ、生涯にわたって楽しみながら学ぶことができるまちづくりを進めてきました。

その結果、「施策4 文化・スポーツ活動の充実」と「施策5 文化の継承と創造と担い手の育成」は、おおむね順調に進展しています。「施策1 知・徳・体のバランスが取れた教育の充実」、「施策2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり」、「施策3 生涯学習※社会の充実」は、引き続き着実に取り組んでいく必要があります。



政策6 野々市産の活気あふれるまち 【産業振興】

政策6には4つの施策を掲げ、地域の特性を生かした産業の育成に取り組んできました。

その結果、「施策2 農業の活性化」、「施策3 勤労者福祉の充実」、「施策4 観光資源の発掘」は、おおむね順調に進展しています。「施策1 商工業の活性化」は、重点的に取り組んでいく必要があります。



政策7 くらし充実 快適がゆきとどくまち 【都市基盤】

政策7には「施策1 魅力ある街並み形成と住環境整備」、「施策2 交通の円滑化と公共交通網の充実」、「施策3 雨水排水対策の充実」、「施策4 循環する水資源の適正利用」の4つの施策を掲げ、安全で快適な都市基盤づくりを実施してきました。

その結果、すべての施策が、おおむね順調に進展しています。



政策8 住み続けたい!をみんなの声でつくるまち 【行財政運営】

政策8には3つの施策を掲げ、職務遂行能力が高く、開かれた、信頼される行政をめざしてきました。

その結果、「施策2 人材育成の推進」はおおむね順調に進展しています。「施策1 開かれた市政の推進」、「施策3 安定した行財政運営の推進」は、引き続き着実に取り組んでいく必要があります。